



表現者・役者

幼少期からモデルや女優として活動を続けている清水ゆみさん。役者という仕事に出合い、表現が広がったことで見えた可能性についてお話を伺いました。表現の世界で挑戦を続ける「大人な女性」の生き様に迫ります。

女優・モデル

清水 ゆみ

SHIMIZU YUMI



表現と挑戦を

向き合う姿勢の変化 続ける『粹な大人の法則』

演技との出会い

役者の世界に入って出会った自分らしい表現の仕方

3歳からモデルの活動を始め、その後スターへの登竜門といわれる女性誌『エムシーシスター』で専属モデルを務めるなど、ファッション業界で活躍されてきた清水さん。10代の頃からアメリカの有名女優ジュリエット・ルイスに憧れ、彼女のような映画の中の人になりたい、と夢を抱くように。そんな清水さんに19歳の時、転機が訪れます。雑誌での活躍がとある映画監督の目にとまり、出演オファーが舞い込んだのです。ついに始まった憧れだった映画の世界への挑戦。そこには、さまざまな感動と葛藤がありました。

「幼い頃からモデルの活動を続けてきましたが、モデルとしての自分にあまり自信はありませんでした。カメラの前では、笑顔でボーリングをするのが当たり前ですが、どんな気持ちで笑えばいいの?と深く考えてしまい、うまく笑えていないように感じていました。映画の仕事をしていただいて、役の感情に合わせて表情を変え、どう動くのかを考えながら役になりきる」という表現に出合っ、自分にはこれが合っている気がすると思っただけです。それまで演技は未経験だったのが、現場で指導を受け、演技を学んでいくのは大変でしたが、もつと演技の世界を知りたいという好奇心と、演じることへの楽しさが大きく、続けるこ

とができました。」
演技の仕事をする中で、自然な表情や動きが出せるようになり、表現の幅が広がったという清水さん。モデルの仕事も肩の力を抜いて、より自分らしく取り組めるように。その後、演技を学ぶため、学校にも通い、役者としての技術を磨きました。

役との向き合い方を考える ヒントを得た舞台作品との出会い

映画『真夜中の弥次さん喜多さん』をはじめとするさまざまな作品に出演してきた清水さん。毎回演じる多様な役から刺激を受け、演じる楽しさを感じ



舞台「ひなかの金魚」

てきました。その中でも、2008年に出演した舞台『ひなかの金魚』は特に印象に残っている作品だといえます。

「私が演じたのは、病気の母親を支えるために単身上京し、夜の街で働きながら小説家を目指す女の子です。日々奮闘する頑張り屋さんなのですが、都会の荒波にもまれて小説家の夢をあきらめてしまいうるようになります。そんな状況の中、田舎の母親に電話をかけ、もう一度夢と向き合おうと奮起するシーン。上演3日目のこの場面で、今までにない不思議な体験をしたんです。稽古では、照れる気持ちを隠すように母親への思いを告げる演技をしていました。ところが本番では、「お母さん」と言葉を発したとたん、急に涙が込み上げてきました。稽古の時とは違う演出になりましたが、舞台上で涙を流しながら母親に気持ちを伝えた時、役の気持ち自身が乗り移ったような衝撃を受けました。」

清水さんはこの経験から、演じる役の瞬間瞬間の感情に寄り添い、役と一体になる感情づくりをしていく大切さを学んだといいます。役者は、本番までに感情を作ることが重要。稽古や準備の段階でどれだけ役を知り、自分のものにできるかによって、本番での自分の姿は変わります。

小川珈琲×清水ゆみ

ラジオパーソナリティへの抜擢で 新たなフィールドにも挑戦

コーヒーを楽しみながらホッとできる時間をお届けする小川珈琲のラジオ番組「湘南Coffee Break」が昨春秋に放送された際、パーソナリティに抜擢されたのが清水さんでした。おしゃべりが得意ではないという清水さんですが、小川珈琲の社員たちと話



キャンペーンイメージ撮影風景

したり、リスナーの方の声を聞いたりするうちに、ほっこりとした気持ちになり、とても楽しく番組を進めることができました。途中からは、番組内の選曲をするという貴重な経験も。日曜の湘南で過ごすコーヒータイムに聞きたくなる曲は何かを考え、さまざまなジャンルから心地よい休日演出する音楽を選んだといいます。ラジオという新たな分野の楽しみを知るよい経験になったと笑顔で語ってくださいました。

大人の女性のたしなみ

充実した毎日を送るキーワードは 『自分らしいスタイルを楽しむこと』

「小川珈琲 秋のキャンペーン」のメインキャラクターに就任した清水さんは、もともとコーヒーが大好きで、隙間時間や仕事の合間などにコーヒーを飲んで、心を落ち着かせることが多いそうです。1日に飲む杯数が多いので、何杯でも楽しめる口あたりの軽いコーヒーが好きというこだわりも。プライベートだけでなく、仕事の現場でもコーヒーをお供にすることが多く

ロケ先まで車で向かい、現地でホッと一息つきながら飲むコーヒーは格別のおいしさとのこと。キャンペーンのイメージ撮影の際も、美味しそうにコーヒーを飲まれる姿が印象的でした。

清水さんが女優としての挑戦を続ける中で、次に出演してみたい作品は「コメディ」だそうです。これまで、舞台作品ではコメディの経験もありましたが、映像作品では出演作が少ないので数多く挑戦し、演技の幅を広げたいとのこと。そんな好奇心旺盛な清水さんは、実は編み物や染め物などのモノづくりや音楽も大好きで、ミュージシャンの弟さんとライブを開催することもあったそうです。仕事もプライベートも自分らしく楽しむことを大切にしている清水さんの「らしさ」を感じました。

今回の「小川珈琲 秋のキャンペーン」のテーマ、「粋な大人」について、「楽しみ上手で楽しませ上手、人と違う自分らしいスタイルを楽しむ人が、粋。だなぁと感じます。そんな風に見える大人に憧れます。」と清水さん。新たな局面でも挑戦の心を常に持ち、新しい世界に飛び込み自分らしく楽しむ、そんな清水さんも、粋な大人の一人です。「表現者」という舞台でどのような展開を広げていくのか、清水ゆみさんの今後に目が離せません。

清水 ゆみ

1982年東京都出身。3歳で芸能界デビューをはたし、モデル・女優として活動。「真夜中の弥次さん喜多さん」をはじめとする映像作品のほか、アサヒ飲料三ツ矢サイダー「母と子の安心篇」、Amazon「買い物の数だけストーリーがある。」米粉編などCMにも多数出演。

清水ゆみさんが
メインキャラクターを務める
小川珈琲店キャンペーンの
詳しい内容はP24を
ご覧ください。